

黒潮と陸地

土佐清水の自然環境と地域の暮らしの大部分は、暖流の黒潮（日本海流）と地域の地形の相互作用によって生まれました。足摺岬のすぐ沖の海底には起伏があります。これは、多様な地盤に海の浸食作用が働いた結果です。黒潮が海底のくぼみにぶつくと、そこに堆積している栄養分が上に舞い上がり、多くの魚を引き寄せます。

竜串湾は、非対称な入り江が多いことが特徴で、そのような地形になったのはこの地域に風化や浸食の作用を受けやすい地層が広がっているからです。湾のサンゴやその他の海洋生物の多様性も、黒潮が絶えず沿岸沿いを流れているからこそのもので、この沿岸の地形は遅くとも江戸時代（1603–1868）には来訪者を驚かせる名物となっていました。